

幼児教育コース

コース紹介詳細は
Webページへ



プロフェッショナル

「子どもが好き」のその先へー幼・小の教育者になろう！

このコースでは、子どもの発達や教育に関心があり、幼児期・児童期の子どもの教育に情熱を持った学生を求めています。

子どもが好きという皆さんの気持ちを大切にしながら、子どもと対話し、その思いや願いに寄り添う教育者になれるような専門的なカリキュラムを用意しています。子どもの発達、子ども理解の視点、保育・教育の内容と方法、環境、思想、歴史、社会的背景、国際的動向、制度・政策の現状と課題などについて、教員と学生がともに、対話を通して広く深く学びます。また、教育実習の他に、コース独自の科目である「継続観察実習」等で、附属幼稚園をはじめ様々な園で継続的に実践を学ぶ機会があります。

卒業生は、幼稚園や小学校教諭を中心に、保育士その他子どもの育ちに関わる仕事に就いています。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

幼児教育コースでは、幼稚園教諭免許状と小学校教諭免許状の両方の取得が卒業要件となります。そのために、教養教育である全学共通科目、各教科の内容を学ぶ教科専門科目、教職に関わる知識や技術を学ぶ教職専門科目などを履修します。コースの専門科目では、これらを発展させ、教員と学生が対等に議論しながら、教育学・幼児教育学・発達心理学について専門的かつ横断的に学び、これからの教育を探究します。

継続観察実習

この授業では、附属幼稚園での継続的な幼児観察と、その記録に基づくディスカッションを通して、子ども理解を深めるとともに、保育者の見取りと保育実践のつながり・カリキュラムのあり方について理論的・実践的に考えます。3年次の教育実習への準備にもなっている、本コースだけのオリジナルな専門科目です。



MESSAGE

学生メッセージ 3年生 A. S. さん (甲府第一高校出身)

子どもたちに寄り添うために、私たちと一緒に学んでいきませんか？

子どもはとてもかわいらしくて、私たちに元気をくれます。大学で学ぶ中で、子どもたち1人1人に寄り添うために、まず子どもたちの思いを知ることが大切だと感じました。その難しさを感じることも多いですが、幼児教育コースではディスカッションや実践の機会が多く、一歩一歩成長できていると感じています。少人数のコースなので、ディスカッションでは自分の考えを言いやすいです。私たちと一緒に少しずつ学んでみませんか？



教員メッセージ 岩井哲雄 先生 (専門分野：教育哲学)

学生の成長と夢の実現を応援します。

本コースは、大学内での学びはもちろん、大学外でも地域の教育・保育に触れる機会を積極的に設けるなど、少人数であることを活かした教育に力をいれています。コース教員の専門も多彩なので、大学に入学し様々な知的な刺激を受けながら自己を確立していくためには最適な環境にあります。日頃の学習活動から卒業研究の指導、就職に関する指導・助言まで、みなさんの自己実現を全力で支援します。



取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 幼稚園二種
または
幼稚園一種 + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

特別支援学校一種 など

研究紹介①

高橋 英児

～研究テーマ～

子どもたちを現在および
未来の生活の主体・主権
者として育てる教育

高橋 英児 Takahashi Eiji

小学校では落語家、中学校では変身ヒーロー、高校では妖怪研究家を志し、紆余曲折の末に現在に至る。子どもだけでなく大人を育て、社会をも育てる営みである教育に魅力を感じ、研究している。

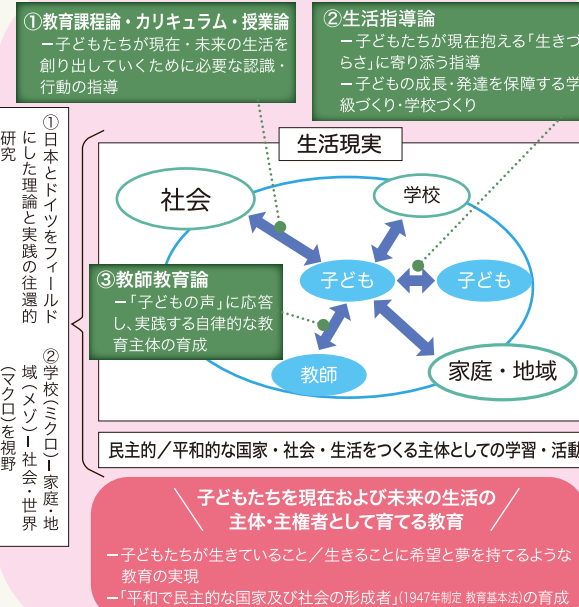


子どもと共に教室から平和な世界を創造する

研究テーマは、子どもたちを現在・未来の生活の主体・主権者として育てる教育です。「平和で民主的な国家及び社会の形成者」(1947年教育基本法)の育成という戦後教育の理念の実現を目指し、カリキュラム・授業づくりから、日常の学級指導(集団づくり)・生活指導まで幅広く研究の対象にしています。

子どもたち一人ひとりが生きることへの希望と夢を持ち、それらの実現をめざして自分たちの生活現実を変革していく力を育てるための具体的な教育の方法を追究しています。大人と子どもが一緒になって教室から平和な世界を創造していく教育の実現と、そのために子どもの声に応答し、子どもと共に成長し続ける教師の育成が、私の研究の究極の目標です。

高橋の研究領域



研究紹介②

秋山 麻実

～研究テーマ～

探索的保育・教育学

秋山 麻実 Akiyama Asami

「子育てや低年齢の子どもの「先生」は、なぜ女性が多く担うのか」という疑問が、研究のきっかけ。現在は、保育者が安心して自分の経験を話せて、力がつくような研修のあり方を研究している。



大人も子どもも広く深く楽しく「探索」できる教育を

私たちは「苦しくても頑張った」ことに価値があると思いがちです。

でも本当は、「苦しくなくて頑張れる」こともあるし、「苦しくてやめちゃった」人も幸せになる権利があります。仲間を探して「なぜ苦しく感じるのか」を話し合ったら、世の中の方がおかしいと気づくこともあります。

私は、保育の中で、子どもも保育者も、そんないろんな選択ができると思うっています。特に、保育者が広く、時に深く、探索(explore)するために、話しながら記録を書く、子どもを擁護する意見や大人を擁護する意見を交換する、自分たちの状況や社会の問題に目を向けるなどの方法を試しています。

今、世界的にも保育者を力づける研修のあり方の工夫が蓄積されてきていて、そうした状況を取り込みながらよりよい方法を模索したいと考えています。

秋山の活動・研究のイメージ



参加者の意見を共有



保育者の実践研究



園内の話し合いの流れ



どこの国から来たの？

学生の成長と進路

保育士資格について

本学は指定保育士養成施設ではありませんが、幼児教育コースでは、在学中に保育士試験を受験することで、卒業時には幼稚園教諭免許状と小学校教諭免許状に加え、保育士資格を取得している学生が多数います。そのため、本コースの卒業生は、幼稚園と小学校だけではなく、保育所、認定こども園、放課後児童健全育成事業、児童養護施設など、子どもと関わる様々な現場で活躍しています。

